

# 国分寺市都市マスタープランの改訂に係るアンケート調査結果 概要版

## 1. アンケート調査の概要

目的	まちづくりに対する市民の意向を改訂都市マスタープランに適切に反映するため、市内に居住する市民に対してアンケート調査を実施した。
調査対象	18歳以上の市民
サンプリング条件	住民基本台帳から3,000人をランダムサンプリング（町丁目別の人口比を考慮）
調査内容	○日常の行動圏域について ○国分寺市の将来像について ○まちづくりの満足度と重視度について ○属性について
調査期間	平成26年5月30日（金）～平成26年6月16日（月）
配布方法	郵送配布，郵送回収
回収結果	配布数：3,000件 回収数：1,140件 回収率：38%

## 2. 回答者の属性について

### お住まいの小学校区

### 年 齢

n=1140(SA)		
	件数	割合
1 第一小学校区	131	11.5%
2 第二小学校区	138	12.1%
3 第三小学校区	144	12.6%
4 第四小学校区	135	11.8%
5 第五小学校区	103	9.0%
6 第六小学校区	95	8.3%
7 第七小学校区	83	7.3%
8 第八小学校区	60	5.3%
9 第九小学校区	58	5.1%
10 第十小学校区	91	8.0%
無回答	102	8.9%

n=1140(SA)		
	件数	割合
1 20歳未満	19	1.7%
2 20歳代	74	6.5%
3 30歳代	135	11.8%
4 40歳代	196	17.2%
5 50歳代	199	17.5%
6 60歳代	232	20.4%
7 70歳代	184	16.1%
8 80歳以上	98	8.6%
無回答	3	0.3%

### 性 別

### 職 業

n=1140(SA)		
	件数	割合
1 男性	497	43.6%
2 女性	642	56.3%
無回答	1	0.1%

n=1140(SA)		
	件数	割合
1 会社員・公務員	349	30.6%
2 自営・自由業	89	7.8%
3 アルバイト・パート(派遣含む)	144	12.6%
4 家事専業	199	17.5%
5 学生	44	3.9%
6 無職	276	24.2%
7 その他	36	3.2%
無回答	3	0.3%

### アンケート結果の表記について

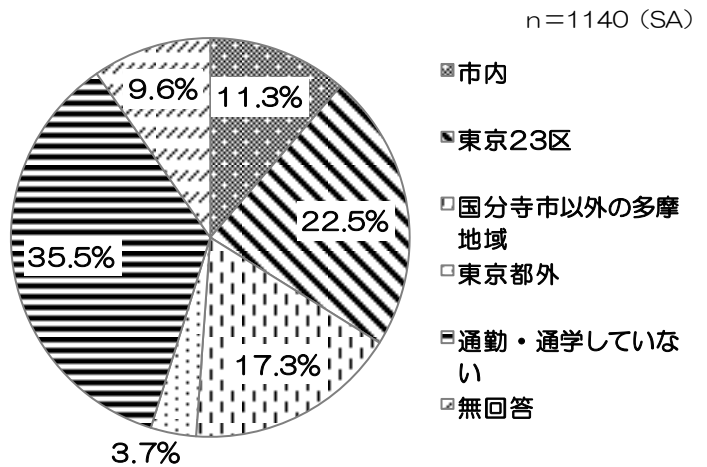
- 図表中の「n」は各設問の回答者数、「SA」は単数回答（シングルアンサー）、「MA」は複数回答（マルチアンサー）を表している。
- 比率は、「n」を100%とした百分比で算出し、小数点以下第2位を四捨五入した。そのため、百分比の合計が100%にならない場合がある。
- 複数回答の設問では、その比率の合計が100%を上回ることがある。

### 3. 日常の行動（通勤・通学先）について

#### 通勤・通学先

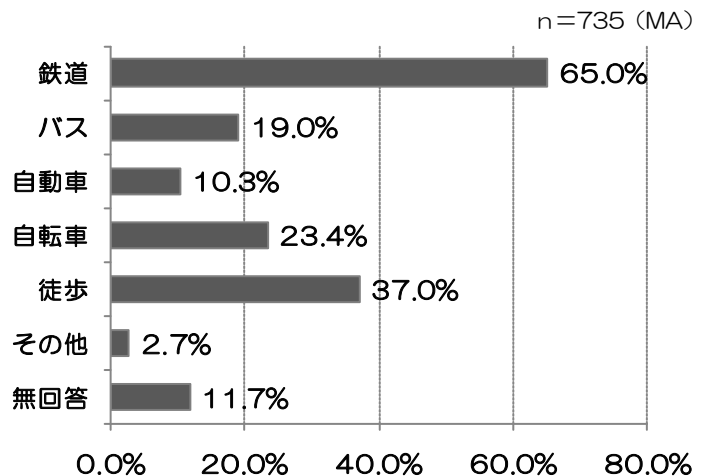
○通勤・通学については、通勤通学している人が 54.8%，通勤・通学していない人が 35.5%となっている。通勤・通学者している人の通勤先を見ると、「東京 23 区」が 22.5%と最も多く、次いで「国分寺市以外の多摩地域」が 17.3%，「市内」が 11.3%となっている。

○具体的な通勤・通学先としては、東京 23 区では千代田区、新宿区、港区等が多くなっており、市外の多摩地域では立川市、府中市等が多くなっている。市内では、光町、南町等が多くなっている。



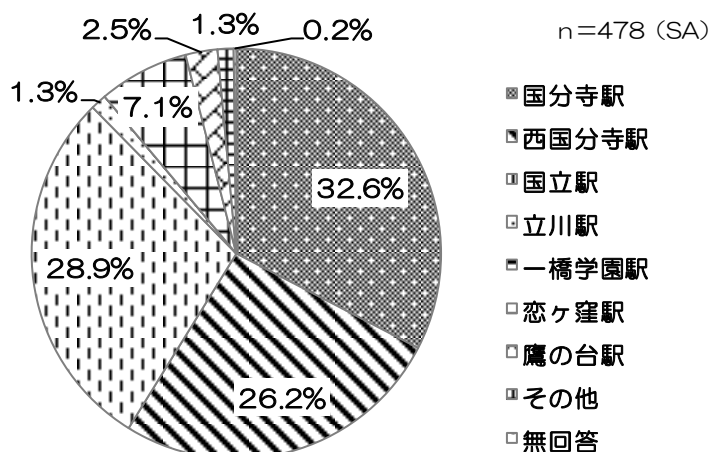
#### 移動手段

○通勤・通学での移動手段については、「鉄道」が 65.0%と最も多く、次いで「徒歩」が 37.0%，「自転車」が 23.4%となっている。



#### 利用する駅

○通勤・通学で初めに利用する鉄道駅については、「国分寺駅」が 32.6%と最も多く、次いで「国立駅」が 28.9%，「西国分寺駅」が 26.2%となっている。

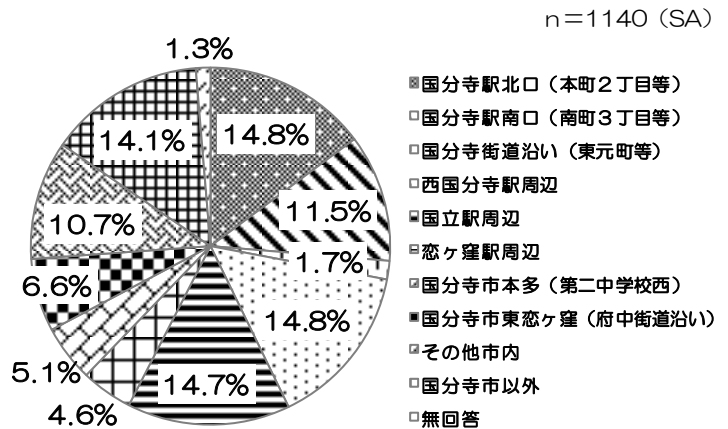


## 4. 日常の行動（日常的な買い物）について

### 日常的な買い物先

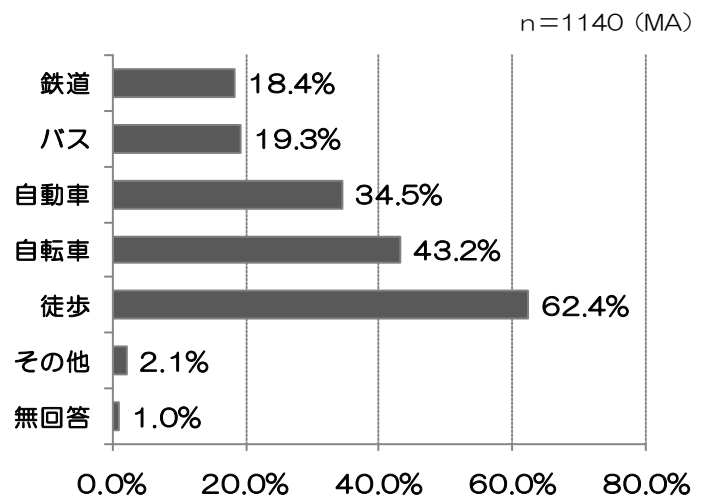
○日常的な買い物先については、「国分寺駅北口（本町2丁目等）」、「西国分寺駅周辺」がともに14.8%と最も多く、次いで「国立駅周辺」が14.7%、「国分寺市以外」が14.1%となっている。

○その他市内の内訳としては、日吉町が非常に多く、「国分寺市以外」では立川市が非常に多くなっている。



### 移動手段

○日常的な買い物の移動手段については、「徒歩」が62.4%と最も多く、次いで、「自転車」が43.2%、「自動車」が34.5%となっている。

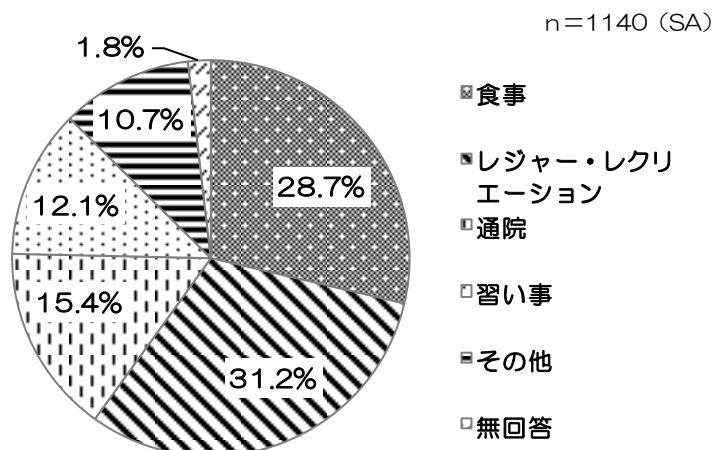


## 5. 日常の行動（その他の外出）について

### その他の外出目的

○通勤・通学、買い物以外の日常的な主な外出目的については、「レジャー・レクリエーション」が31.2%と最も多く、次いで「食事」が28.7%、「通院」が15.4%となっている。

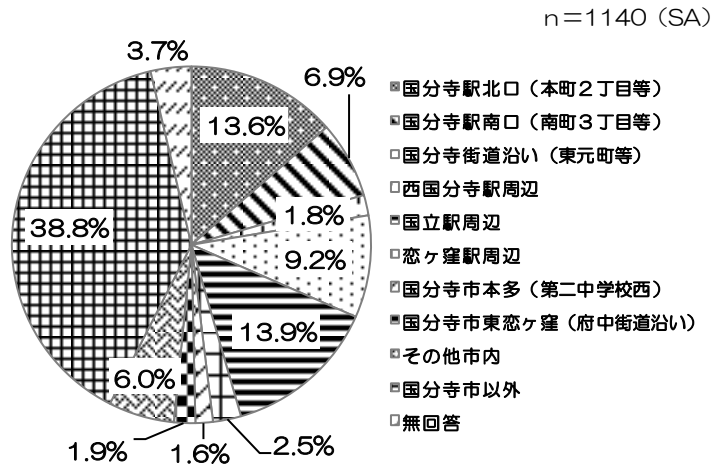
○その他の内訳としては、散歩・ウォーキング、子どもの送迎が多くなっている。



## 外出先

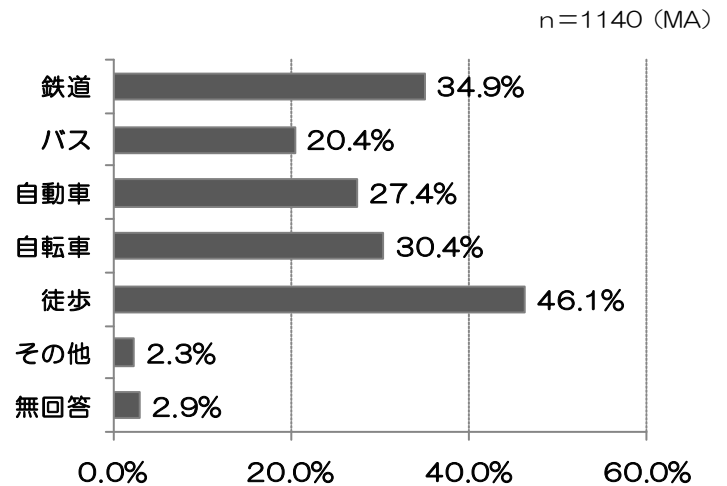
○通勤・通学，買い物以外の日常的な主な外出先については，「国分寺市以外」が 38.8% と最も多く，次いで「国立駅周辺」が 13.9%，「国分寺駅北口（本町2丁目等）」が 13.6% となっている。

○その他市内の内訳としては，戸倉，日吉町が多くなっており，国分寺市以外では立川市が非常に多くなっている。



## 移動手段

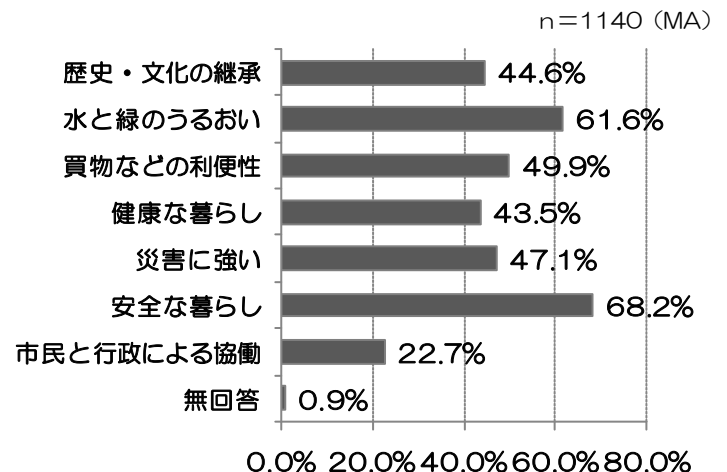
○通勤・通学，買い物以外の日常的な主な外出の移動手段については，「徒歩」が 46.1% と最も多く，次いで「鉄道」が 34.9%，「自転車」が 30.4% となっている。



## 6. 国分寺市の将来像について

### 重視すべきキーワード

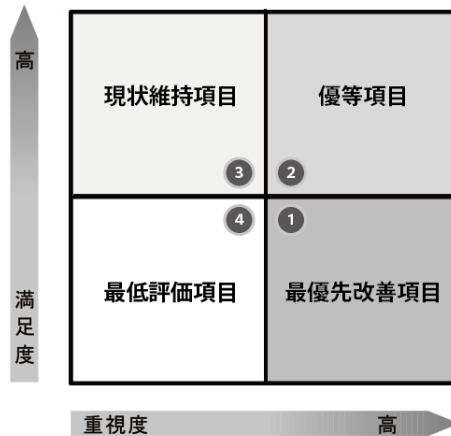
○本市が目指すまちのすがたとして重視すべきキーワードについては，「安全な暮らし」が 68.2% と最も多く，次いで「水と緑のうるおい」が 61.6%，「買物などの利便性」が 49.9% となっている。



## 7. まちづくりの満足度・重視度（地域別）について

### 満足度×重視度分析について

○各分野のまちづくりに対する設問では、「満足度」と「重視度」を把握し、それらを掛け合わせることで、改善点の抽出を行ない、改善施策立案・優先順位付けのための分析を実施した。



#### ① 最優先改善項目

重視度が高いにもかかわらず、満足度が低いゾーン。このゾーンの項目が最優先に考慮すべき、要改善検討項目と考えられる。

#### ② 優等項目

現状の満足度も高く、重視度も高いゾーン。現時点で一定の満足が得られている項目と考えられる。

#### ③ 現状維持項目

満足度は高いものの、重視度は低いゾーン。当面は現状を維持していくことで良いと考えられる項目と考えられる。

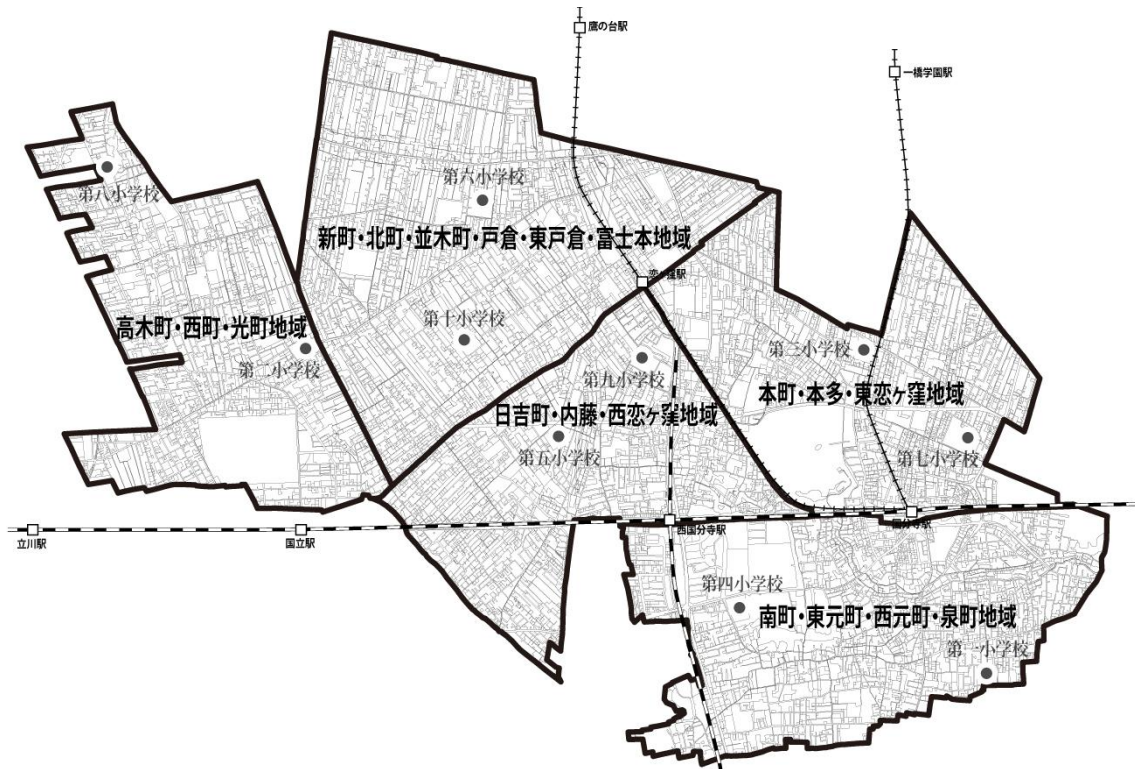
#### ④ 最低評価項目

満足度も低く、重視度も低いゾーン。項目自体の必要性を検討すべきと考えられる。

### 地域区分について

○小学校区を都市マスの地域別構想における5つの地域に分類し、地域別の傾向についても把握している。

地域	小学校区
本町・本多・東恋ヶ窪	第三小学校, 第七小学校
南町・東元町・西元町・泉町	第一小学校, 第四小学校
西恋ヶ窪・日吉町・内藤	第五小学校, 第九小学校
新町・北町・並木町・戸倉・東戸倉・富士本	第六小学校, 第十小学校
高木町・西町・光町	第二小学校, 第八小学校



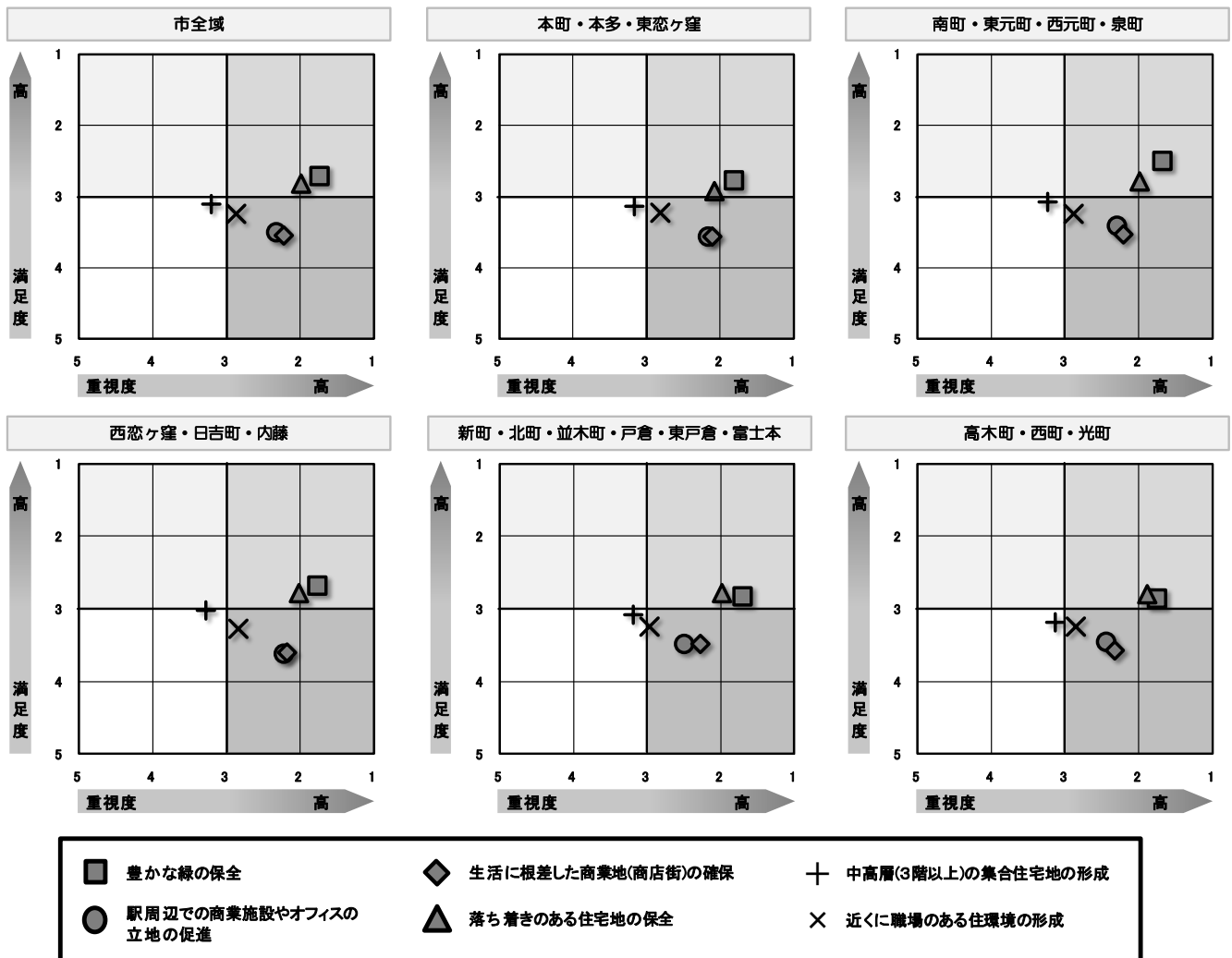
※2つの地域に跨る小学校においては、大半を占める地域に属しているものとして集計している。

## 土地利用

○市全域の満足度と重視度の平均値の分布を見ると、「近くに職場のある住環境の形成」，「生活に根差した商業地（商店街）の確保」，「駅周辺での商業施設やオフィスの立地の促進」の3項目が最優先改善項目，「豊かな緑の保全」，「落ち着いたきのある住宅地の保全」の2項目が優等項目，「中高層（3階以上）の集合住宅地の形成」が最低評価項目となっている。

○市全域と地域別を比較すると，全体的に似た傾向にあるものの，満足度では，南町・東元町・西元町・泉町の「豊かな緑の保全」がやや高い傾向にある。一方，本町・本多・東恋ヶ窪の「落ち着いたきのある住宅地の保全」，西恋ヶ窪・日吉町・内藤の「駅周辺での商業施設やオフィスの立地の促進」，新町・北町・並木町・戸倉・東戸倉・富士本，高木町・西町・光町の「豊かな緑の保全」がやや低い傾向にある。

○重視度では，本町・本多・東恋ヶ窪の「駅周辺での商業施設やオフィスの立地の促進」，「生活に根差した商業地（商店街）の確保」，高木町・西町・光町の「落ち着いたきのある住宅地の保全」がやや高い傾向にある。一方，新町・北町・並木町・戸倉・東戸倉・富士本，高木町・西町・光町の「駅周辺での商業施設やオフィスの立地の促進」がやや低い傾向にある。

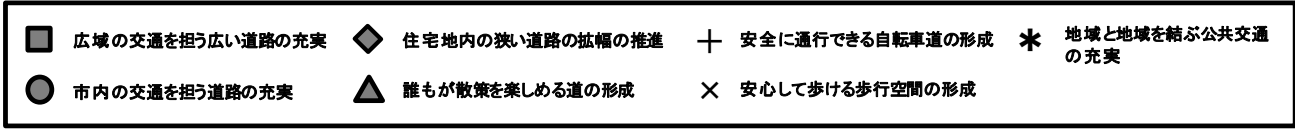
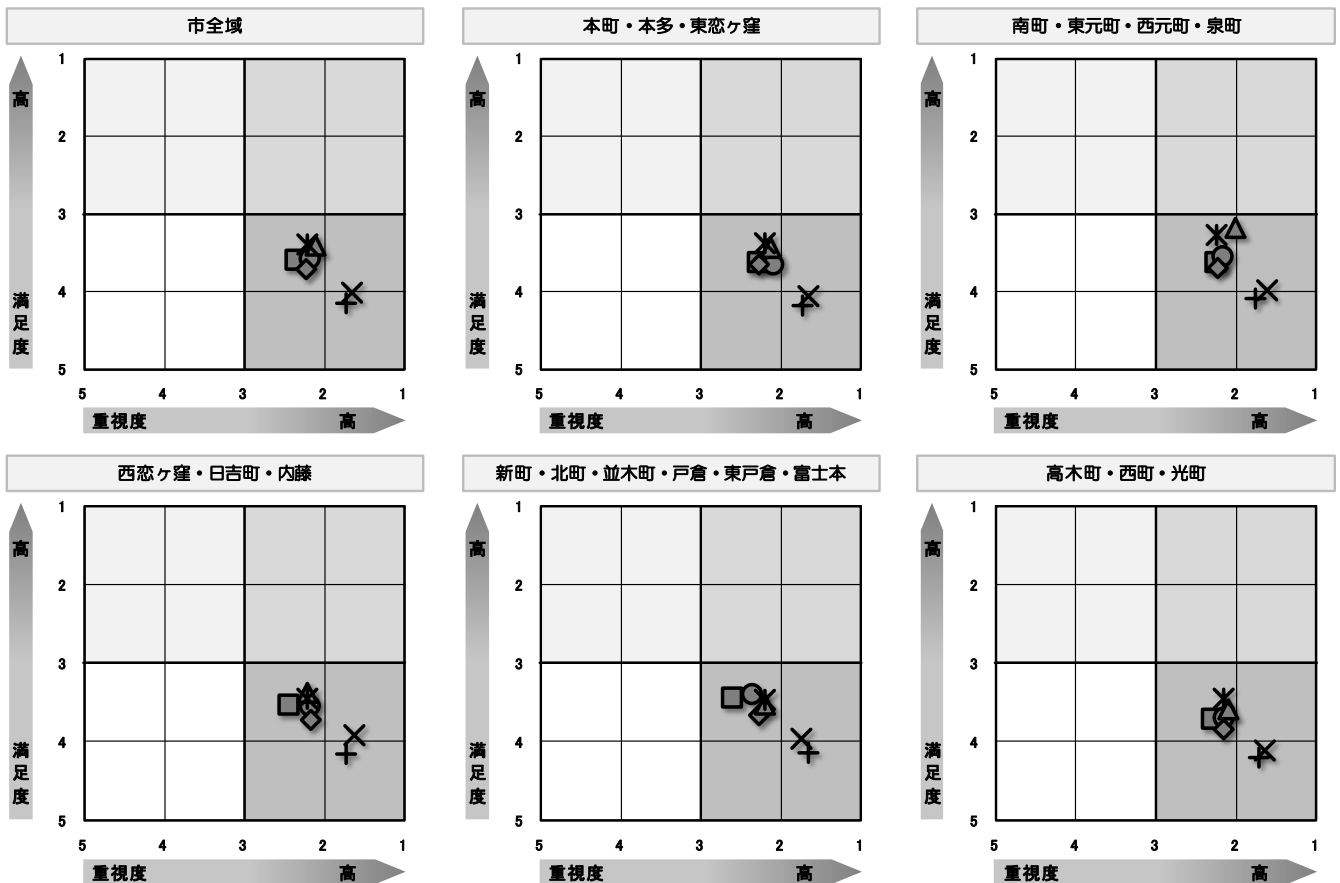


## 道路・交通基盤

○市全域の満足度と重視度の平均値の分布を見ると、全項目が最優先改善項目となっている。

○市全域と地域別を比較すると、全体的に似た傾向にあるものの、満足度では、南町・東元町・西元町・泉町の「誰もが散策を楽しめる道の形成」、「地域と地域を結ぶ公共交通の充実」、新町・北町・並木町・戸倉・東戸倉・富士本の「広域の交通を担う広い道路の充実」、「市内の交通を担う道路の充実」がやや高い傾向にある。一方、新町・北町・並木町・戸倉・東戸倉・富士本の「誰もが散策を楽しめる道の形成」、高木町・西町・光町の「広域の交通を担う広い道路の充実」、「市内の交通を担う道路の充実」、「住宅地内の狭い道路の拡幅の推進」、「誰もが散策を楽しめる道の形成」がやや低い傾向にある。

○重視度では、南町・東元町・西元町・泉町の「広域の交通を担う広い道路の充実」、「誰もが散策を楽しめる道の形成」がやや高い傾向にある。一方、新町・北町・並木町・戸倉・東戸倉・富士本の「広域の交通を担う広い道路の充実」、「市内の交通を担う道路の充実」がやや低い傾向にある。

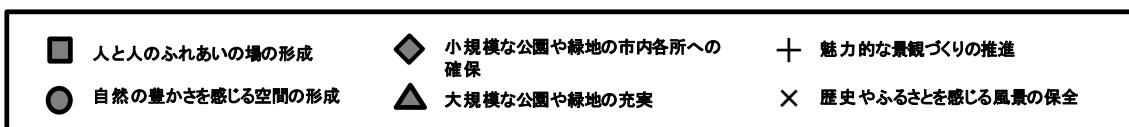
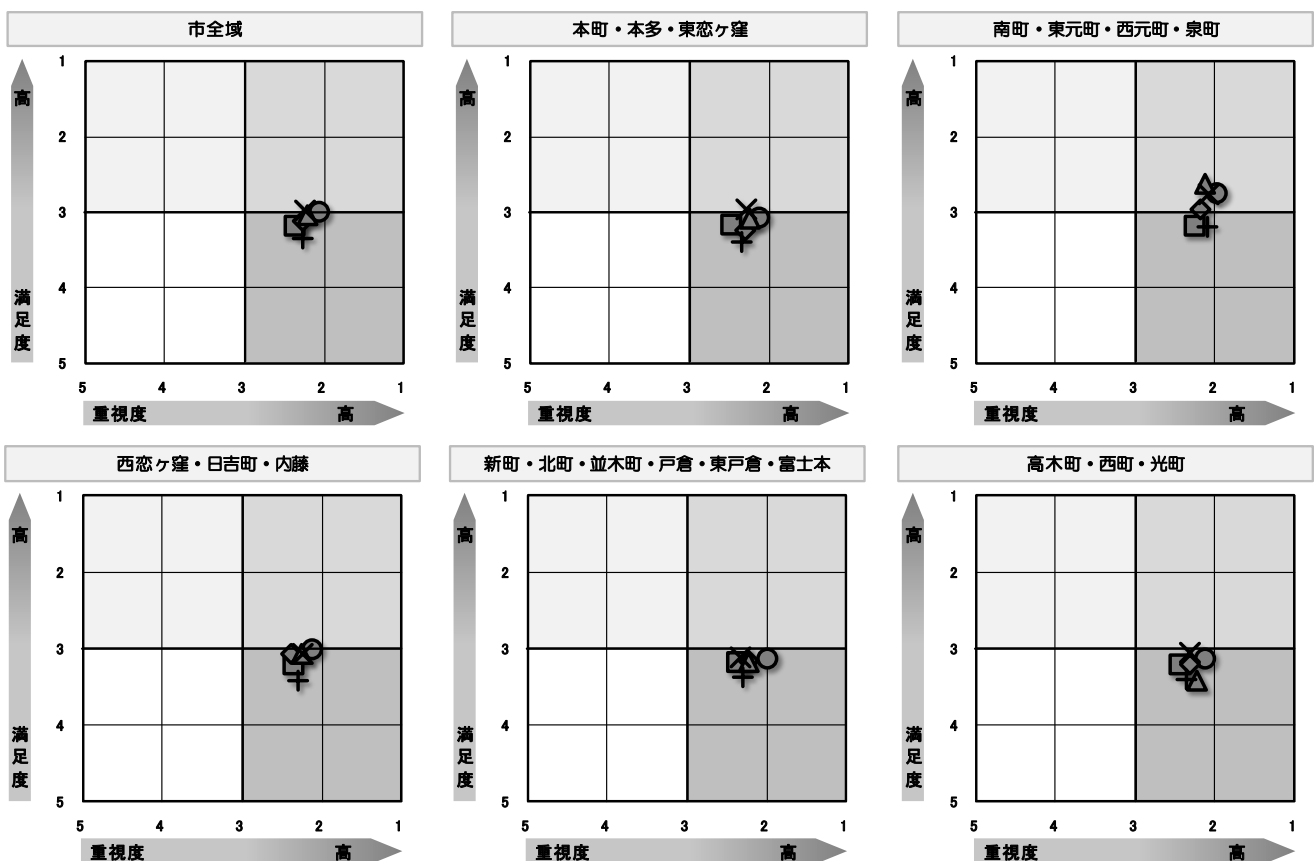


## 都市環境

○市全域の満足度と重視度の平均値の分布を見ると、「人と人のふれあいの場と形成」，「小規模な公園や緑地の市内各所への確保」，「大規模な公園や緑地の充実」の4項目が最優先改善項目，「自然の豊かさを感じる空間の形成」，「歴史やふるさとを感じる風景の保全」の2項目が優等項目となっている。

○市全域と地域別を比較すると，全体的に似た傾向にあるものの，満足度では，南町・東元町・西元町・泉町の「自然の豊かさを感じる空間の形成」，「小規模な公園や緑地の市内各所への確保」，「大規模な公園や緑地の充実」，「魅力的な景観づくりの推進」，「歴史やふるさとを感じる風景の保全」がやや高い傾向にある。一方，本町・本多・東恋ヶ窪の「小規模な公園や緑地の市内各所への確保」，新町・北町・並木町・戸倉・東戸倉・富士本の「自然の豊かさを感じる空間の形成」，「大規模な公園や緑地の充実」，「歴史やふるさとを感じる風景の保全」，高木町・西町・光町の「自然の豊かさを感じる空間の形成」，「大規模な公園や緑地の充実」がやや低い傾向にある。

○重視度では，南町・東元町・西元町・泉町の「人と人のふれあいの場の形成」，「魅力的な景観づくりの推進」，「歴史やふるさとを感じる風景の保全」がやや高い傾向にある。一方，西恋ヶ窪・日吉町・内藤の「小規模な公園や緑地の市内各所への確保」がやや低い傾向にある。



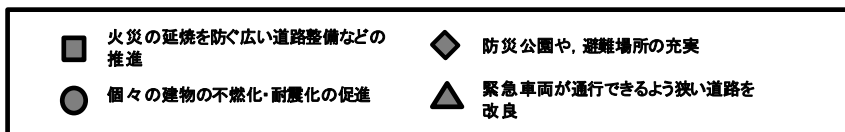
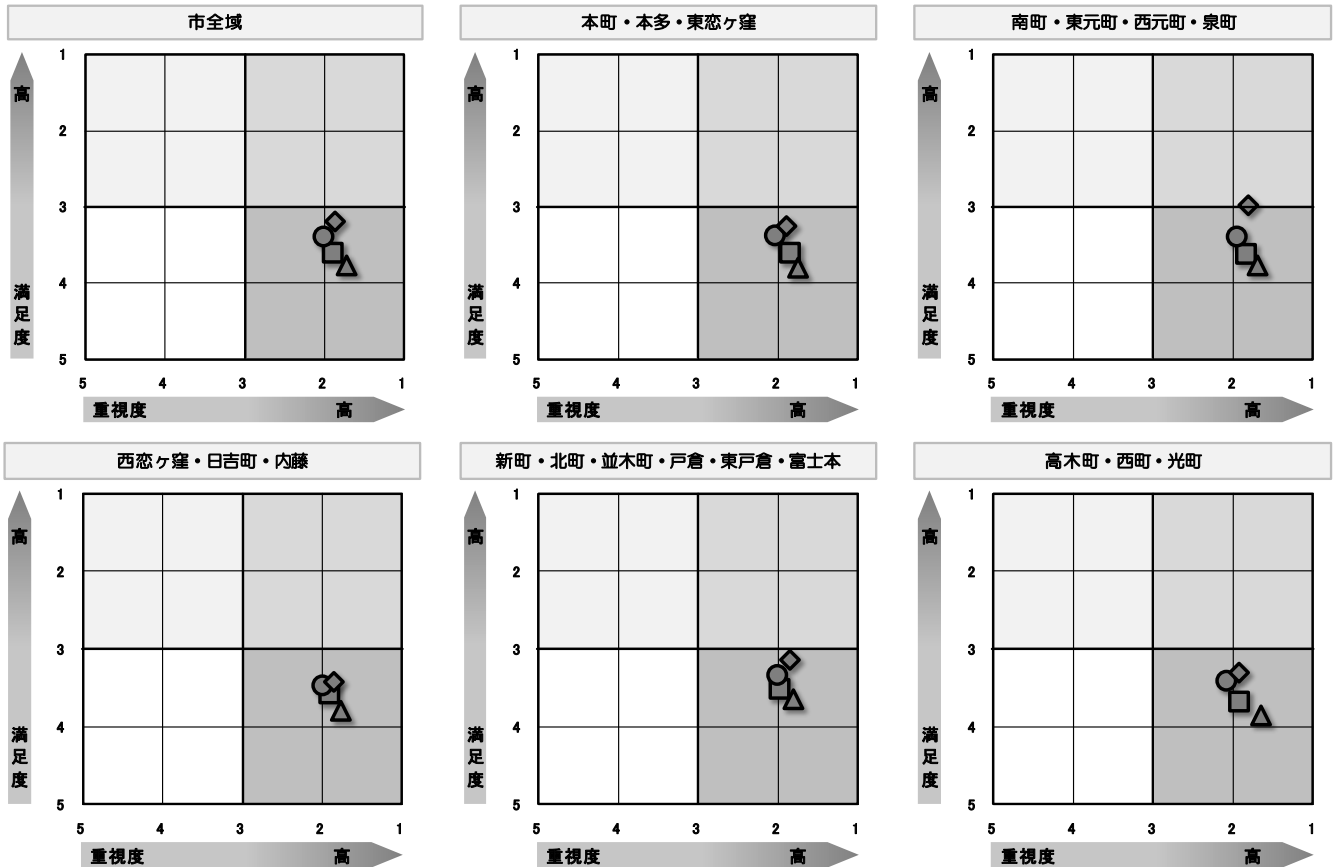


## 安全・安心

○市全域の満足度と重視度の平均値の分布を見ると、全項目が最優先改善項目となっている。

○市全域と地域別を比較すると、全体的に似た傾向にあるものの、満足度では、南町・東元町・西元町・泉町の「防災公園や、避難場所の充実」、新町・北町・並木町・戸倉・東戸倉・富士本の「緊急車両が通行できるよう狭い道路を改良」がやや高い傾向にある。一方、西恋ヶ窪・日吉町・内藤、高木町・西町・光町の「防災公園や、避難場所の充実」がやや低い傾向にある。

○重視度では、全地域ともに大きな差は見られない。



## 7. 自由回答について

○市のまちづくりに対する意見については、全体で 739 件となっている。分野別の内訳としては、道路・交通基盤が多く、内容としては、狭い道路の改善、歩道・自転車道の整備、バス路線の拡充等といった意見が見られた。また、土地利用や都市環境に関する意見も多く見られた。

カテゴリー (件数)	
土地利用	(158 件)
道路・交通基盤	(204 件)
都市環境	(124 件)
安心・安全なまちづくり	(69 件)
土地利用, 道路・交通基盤	(11 件)
土地利用, 都市環境	(10 件)
道路・交通基盤, 都市環境	(13 件)
都市環境, 安心・安全なまちづくり	(3 件)
まちづくり全般	(40 件)
その他	(107 件)